

(別紙)

様式第1号(第5条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	平成28年度 第4回美幌町まち・ひと・しごと創生推進委員会
開 催 日 時	平成28年10月18日(火) 15時00分 開会 17時10分 閉会
開 催 場 所	しゃきっとプラザ会議室2
出 席 者 氏 名	横山委員、城委員、石川委員、田村委員、吉江委員、村田委員、 端委員、水島委員
欠 席 者 氏 名	信太委員
事務局職員職氏名	広島総務部長、小室政策主幹、森久保計画担当主査
議 題	1 開会 2 美幌版総合戦略の効果検証について 3 地方創生拠点整備交付金について 4 今後について
会議の公開又は 非公開の別	公開
非 公 開 の 理 由 (会議を非公開とした場合)	—
傍 聴 人 の 数 (会議を公開した場合)	2名(報道機関)
会 議 資 料 の 名 称	<ul style="list-style-type: none"> ・レジュメ ・美幌版総合戦略の効果検証方法について ・美幌版総合戦略に係る事業実施結果報告 ・附属資料アクションプラン(抜粋) ・地方創生拠点整備交付金の概要 ・地方創生拠点整備交付金の取扱いについて ・次年度に向けた美幌版総合戦略事業に係る提案シート
会 議 録 の 作 成 方 針	<input type="checkbox"/> 録音テープを使用した全部記録
	<input checked="" type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録
	<input type="checkbox"/> 要点記録
その他の必要事項	

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
司会：横山会長	<p>定刻を少し過ぎましたが、第4回目の美幌町まち・ひと・しごと創生推進委員会を開催させていただきます。欠席については、信太委員から欠席の報告を受けています。また、石川委員については、現在向かっているとのことで、遅れての出席となります。</p> <p>それでは早速議事に則って進めさせていただきます。事前にご案内のとおり、本日は前回に引き続き美幌版総合戦略に係る効果検証ということになっております。前回の会議では、国の地方創生交付金を活用した事業についての検証を行いました。今回は、事前に資料を配付させていただいておりますが、町の一般財源で実施した事業の検証を行います。資料を事前配布させていただいておりますが、本日皆さまお持ちでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>では、検証を始めさせていただきますが、資料を見ても分かるのとおり、数が多いため、時間の関係もあり全てを見ることはできない可能性もありますが、事前に見ていただいたということもありますので、皆さまが気になった点、意見がある点を中心に検証をさせていただこうと思います。意見のなかった事業については、効果があったという解釈をさせていただこうと思います。そうしたことで、委員の皆さまから意見をいただきたいと思っておりますので、よろしく願います。その前に事務局から報告・説明はありますか。</p>
小室政策主幹	いえ、ありません。
横山会長	それでは、始めさせていただきます。1枚目の基本戦略1，2について、意見はございますか。
村田委員	はい、町産材活用促進事業について、⑥の欄で「当初見込みより建築住宅戸数が減少したため」とありますが、⑧の欄では「建築住宅戸数は見込みどおりであったが・・・」と異なっているので、どちらが正しいのでしょうか。私の意見については、事前に事務局に渡してあるため、それを踏まえて説明をお願いしたいと思います。
小室政策主幹	はい、村田委員のおっしゃったとおり、村田委員のご意見については事前にいただいておりますので、確認させていただいております。⑥と⑧の矛盾につきましては、⑥の「住宅戸数が減少した」というのが誤りだったと確認しております。⑧にあるように平米あたりの使用量が減ったと言うことで、⑥は「建築住宅戸数は見込みどおりであったため」と修正させていただきます。「地方創生に相当程度効果があった」と評価しております、その理由として「建築住宅戸数は見込みどおりであったため」ということでございます。
横山会長	村田委員、よろしいでしょうか。それ以外に事務局に事前に提出しているものがありましたら、ご意見をどうぞ。
村田委員	はい、次は「林業館管理事業」について、色々と評価理由について書いてありますが、新聞などでも利用者について報道されていまして、その中で他市町村からの利用者もかなり多かったとありましたので、その旨をしっかりと記載して、町の活性化が図られたというところを明記した方がいいのではないかと思います。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
小室政策主幹	村田委員のご指摘のあったところについては、皆さまも新聞報道等でご存じかと思いますが、目標値を大幅に上回った来場者数があったことや、他市町村からの利用者がかなりあったというところもありますので、⑥の評価理由に箇所に、今ご指摘があった「他市町村からの利用者も相当数おり、町の活性化が図られたため」という内容を、原課と相談しまして入れさせていただこうと思います。
村田委員	では、次の「観光振興事業」について、事業費を見ますと、27年度の事業費は、26年度の事業費の26%にも関わらず、効果があったという評価になっています。ということは、26年度に予算をかけた効果が27年度にも影響しているということでしょうか。それとも、そうではないなら、26年度の事業費より大幅に少ない予算で効果があったと言うことは、26年度の予算が過剰だったということとらえ方ができてしまうので、どうなのかなと。
小室政策主幹	はい、この年度での事業費の差については、⑧の欄に26年度の事業費が膨らんだ理由を記載しています。北海道の補助金で緊急雇用創出事業を実施していきまして、そのうち地域資源活用推進では、特産品の開発に関することを行っていきまして、もう一つは観光施設運営・人材育成として、峠の湯の利用拡大に関する人材育成を行っています。これらの部分は、集客につながる場所でもあり、また特産品開発などもそれに少なからず影響したと思います。また、峠イベントも開催したこともあり、全体を含めると、地方創生に非常に効果があったとしているところでございます。
広島総務部長	KPIが峠の入り込み客数であるなら、26年度の緊急雇用事業は外して考えるべきものかと思う。
小室政策主幹	申し訳ありません。部長からの指摘にありましたように、この緊急雇用の部分を抜きますと、事業費としては3,113,607円になります。そうなりますと、26年度から始めている峠イベント、今のところ1年間に2回ずつ実施しているものですが、それがKPIの数値に跳ね返っていると思います。事業費については申し訳ありませんが、3,113,607円も括弧書きなどで記載していただいて、比較してもらえたらと思います。
村田委員	ということは、来年度以降も約400万円ほどの事業費で推移していくと考えていいわけですね。
小室政策主幹	はい、28年度もその程度の金額になります。
横山会長	村田委員、他はよろしいですか。他の委員の方はいかがでしょうか。
吉江委員	確認なのですが、林業館の関係は、10,000人という指標値は延べ人数でしょうか。
小室政策主幹	そうです。
吉江委員	観光振興事業の事業内容において、「美幌町の個性や特色を活かした」となっていますが、この個性と特色は何かと疑問に思います。それをもって観光入込客数となっているのか、峠に入り込みする客だけをもって個性

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
吉江委員	<p>と特色としているのか、この事業内容とそれに伴うK P I といふか事業効果が分かりづらい。個性と特色を活かしてとあるが、話は峠ですねと言うことであれば、事業内容が違うんじゃないのと思います。これは意見ですので、回答などは結構です。</p> <p>13番の新規起業家融資制度について、26年度は実績ゼロ、27年度もゼロとなっていますが、このような制度がありながら実績ゼロというのは、⑥の評価理由に「当該制度を維持することにより新規起業への後押しが図られると考える」とありますが、K P I の関係で評価をするというのであれば、この意見は違うと思うし、もう一点は、どこに問題があったのかを考えないと、10番の今後も事業継続ということにはならないのではないかなと思います。</p>
小室政策主幹	<p>まずは1点目の観光振興事業については、意見ということでございますが、このK P I は観光入込客数ですので、峠に特化されているように見えますが、美幌町の個性と特色といいますと、峠に限ったものではございません。みどりの村ですとか特産品だとかを含めた観光施策でありますので、事業内容が分かりづらければ原課と相談させていただきます。</p> <p>新規起業家融資制度については、平成27年度はその年に新たに新規起業家支援制度が創設されたこともありまして、融資を受けるよりは自分たちで用意した自己資金と補助金で起業したこともあり、この制度は活用されなかったところがあります。この起業家支援事業でも足りない部分があればこの制度も活用が可能なのですが、実際は実績がありませんでした。⑥の評価理由については、確かに沿ったものではないと思いますので、内容については原課と協議させていただきます。</p> <p>26年度以前は、この制度は保証料100%で、利子を補助するものでありまして、他の一般企業との差別化を図るため実施していましたので、起業の後押しにつながると考えています。</p>
森久保計画担当主査	<p>この⑥に書いてある理由については、⑩の事業の継続という判断に対する理由になりますので、この⑥の部分については、担当部署とお話しさせていただきます。</p>
吉江委員	<p>新規起業を後押しするものでありますので、こういった事業はどんどんやってもらいたいと思っています。ここの評価では〇か×かしかないので、それも合わないと思いますが、私が知りたいのは相談があったけども、制度に合わないなどで実施に至らなかったというものがあったのか、ではその原因はなんなのか、課題は何か、それとも相談も一件もなかったのか、そういったことを知りたい。</p>
小室政策主幹	<p>私はちょうど27年度までこの担当部署におりましたので実情をしていますが、実際には融資の関係については相談はありませんでした。一方、新規起業家支援制度につきましては、6件の起業がありました。全て補助金と自己資金の範疇で賄ったと聞いております。もし、そうした方たちから相談がありましたら、この制度の併用についても説明しますし、資金計画を見た中では、融資はなくて自己資金とありました。</p>
横山会長	<p>補足ではないですが、実際に相談窓口となる立場として言わせていただくと、相談がなかったというのも事実ですが、相談にのる選択肢の一つとしてこの制度があるというお話しはさせていただいている。国の制度資金</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
横山会長	でも同じようなものがありますので、国か町かの選択肢の中にこの制度は入れております。問題点は何かと言いますと、その選択肢の中でお客さんがどのように判断するかにあるかと思えます。
吉江委員	分かりました。それと、最後の政府関係機関の誘致について、簡単にいくものではないと理解していますが、⑥の国の調査で4つの施設を希望したとなっていますが、その4つの施設は何だったのかと、⑩の欄において農業関係・自衛隊関係の機関を中心に誘致を続けていくありますが、他に考えているものがあるのでしょうか。軍縮が進んでいる中、町としても大事なところかと思えますし、町だけ行政だけでも進められるものではないと思えます。そここのところの今後の進め方をどのように考えていますか。
森久保計画担当主査	4つの施設についてですが、一つは自衛隊関係でして、武器の輸送部隊の配置の施設（※後日確認：陸上装備研究所）に関係するものを希望していました。あとの3つが農林関係なのですが、一つが八王子市にある研修施設（※後日確認：森林技術総合研修所）でして、座学を学ぶ施設が八王子市にあり、実地を学ぶ機械がある場所が群馬県にあるのですが、それらをまとめて美幌に一カ所に整備したらどうかと提案をしたのが2つ目の施設。3つ目が東京都の霞ヶ関にある施設で、研究施設なのですが（※後日確認：農林水産製作研究所）、あまり広さを必要としない施設でしたので、それを持って来られないかと。4つ目が理化学研究所の横浜市にあるバイオマスの部門の研究所の移転を提案しました。この地域は、農業が主要産業ですし、少し足を伸ばせば海、水産業があります。林業もありますので、研究施設にとってはピッタリなところだと思っています。また地震が少ないということや、美幌であれば津波の心配もないので、どうでしょうかという提案をさせていただきました。その後の経過については、部長がやり取りをしていました。
広島総務部長	4つの施設について要望させていただいて、多くの市町村が手を挙げたと聞いていますが、最終まで手を挙げ続けていたのは美幌と北見と網走ぐらいだったということで、道内でも少ないものであったと聞いています。北海道から国に挙げるときに、美幌さんどうしますかという電話をいただきました。その際に、国の本気度を聞きまして、相当な手間暇をかけて資料を用意しないとイケないということがありました。美幌は省庁の移転と言うより、第1次産業を中心とした施設の一部と、部隊の町ですのでその関係をどうですかと、合理的だと思いますよと提案をしたのですが、その結果は当時の報道を見る限り、観光庁の一部京都府に移転とあり、それは芸術文化の点から見ると、それは京都にあるのが当然のものであるところを移転しただけのもの。北海道でみると、本気度はとても低いですよと話があり、それではそういったものに職員の労力を割いてやるのは止めますと手を下ろさせていただいた経緯がありました。ただ、今後については、第一次産業の地帯でありますから、農業と林業を含めて、広域的に進めていく必要があると思っています。北海道にあった方がいいという一次産業関係の施設はあると思いますので、そこをどうこちらに引っ張ってくるかというのは、広域的に北海道を含めて考えていく必要があると思っています。今回みたいに、一つの自治体に対してどうでしょうかというやり方自体がふさわしくないと思います。広域的に取り組む中で、農林地域ですので、担い手をどう確保していくかといった課題を考えますと、農業や林業の研修施設を誘致できないかというのは考えていますので、引き続き要望

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
広島総務部長	<p>していきたいと思っています。ただ、中々相手は本気になっていただけないところがあると思っています。そのため、最初だけ盛り上がりを見えたものの、今は政府機関の地方移転の話は出てきてない。そういった照会もないということからいけば、国の本気度は低かったのではないかと。そうはいつでも、必要な施設、使う人にとってどこにあるのが一番いいのかを考えると、取り組んでいかなければならないものだと思います。これは北海道の力を相当借りないとできないことなので、タイアップしながらやっていきたいと思っています。</p>
横山会長	<p>吉江委員、よろしいですか。では、他の方どうでしょうか。</p>
田村委員	<p>質問ではないのですが、私は学校に勤めていて、美幌高校の生徒は4割が就職していきます。その時に、ここに観光振興事業とありますが、これが振興されてその延長線上に雇用創出の効果が表れればいいんだろうなと思っています。この観光振興事業が、例えば日帰りのお客さんだけをターゲットにしているのか、宿泊を想定しているのか、もっと多様な交流人口の増加を目指しているのか、と色々と考えました。北海道の高校生は約3万3千人いて、そのうち卒業後すぐに就職する学生は8千人。割合としては25%。そのうち、95%の子は、道内・管内で就職する。やはりこういった子たちが管内・道内で就職するという現状を考えれば、地元で雇用があればいいと思っています。是非、こうした事業の中でそれが創出されるようなものになって欲しいと思っています。</p>
広島総務部長	<p>この基本的戦略1は、基本的な考え方として「地域での基幹産業を守り育て強化するとともに、新たな産業と雇用の場をつくる」というものですので、雇用の場をどのようにつくっていくかが戦略の大きな柱となっています。どのような分野で、例えば一次産業の分野での雇用も必要ですし、校長先生がおっしゃられたように観光分野やあらゆる分野での雇用の場を作っていくためには、まだまだ時間がかかるなど感じています。観光分野で地域経済を考えていくと、宿泊客をどう確保するか、それに関係する宿泊施設をどうするかについて考えていかないと、手遅れになると思っています。今、商工会議所を含めて協議をさせていただいていますけども、なかなかいい方向が見いだせないというのが現状で、けども手をこまねいては何も変わらないだろうと思います。そこをどう打開していくかは、あらゆる方策を考えながら常に求めていきたいと考えています。</p>
横山会長	<p>よろしいですか。では、他の方どうですか。</p>
城委員	<p>10番の空港交通利便性向上事業について、KPIが利用客、指標値が400で、実績値が420となっていて、非常に効果的だったという評価がされていますが、数字だけ見れば確かに上回っているのでもう見えますけども、稼働日数が87日間で、一日当たりに割り返すと一日2.4人になる。これを非常に効果があったと評価するのは正しいのか疑問です。目標はクリアしてはいますけども、非常にと呼べる数字なのかどうか。</p> <p>それと、これは空港と駅と峠をつなぐ路線であるけど、本当に峠にまで乗っているのか、美幌町にお金が落ちるようになっているのか疑問です。単に美幌にビジネスで来て、たまたま空港からいいバスがあったので乗ってただけなのか分からないですよね。いずれにしても効果はあるのでしょうか、非常にというところに入るのかなど。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
小室政策主幹	<p>これも商工観光グループにいたときに担当しておりましたが、ほとんど方は峠まで乗っていきます。コースとしては、女満別空港発で美幌駅に駐まって、時間の都合上、博物館によってもらって美幌のことを知ってもらうようにしています。そして、峠の湯の利用促進も兼ねて峠の湯にも駐まるのですが、ここではおりる方はいません。ほぼ、美幌峠で降りています。このバスは、弟子屈から来たバスと連結されることになっていますので、そのまま川湯方面に行っています。連結なのでその逆に弟子屈から峠に来る方もいるのですが、その方たちが美幌の街中に来てくれればいいのですが、峠を見たら戻ってしまうんですね。その部分が1,000人以上。評価で「非常に」を付けたことについては、この420人だけでなく、その人たちも含めて峠の景色を楽しんだりレストハウスなどを利用されたということで、その効果も含んでいるものと思います。ただ、空港から峠に運行する事業としては、1日当たりの人数は少ないので、「非常に」という部分については合わないかもしれません。</p>
広島総務部長	<p>数字を見ますと、「非常に」というものではないと思います。</p>
城委員	<p>ワンランクかツーランク下げるものでいいのではないですかね。</p>
広島総務部長	<p>効果があったかどうかよりも、この事業が必要かどうかの検証をしなければならないと思います。これだけの費用をかけて観光客を美幌峠に運ぶことについて、1人当たりのコストはいくらになるのかということを見ると、検証する必要があると思います。ただ、弟子屈町との連結の関係があって、美幌町だけで判断ができないところがありますので、それを含めてもう少し違う方法がないのか探っていく必要があるのかなと。</p>
村田委員	<p>言葉で書いていくのではなく、①②とかもっと別の標記がいいのではないかと。選択式なので、そこから選ばざるを得ないため、「非常に」といった言葉になってしまうので、別の標記にしたらどうでしょうか。</p>
城委員	<p>②は「目標を上回ったことはなかったものの」とありますので、②でもないか。かといって上回っているけど「非常に」ではない。この選択肢自体がどうかと思う。</p>
小室政策主幹	<p>ここの評価ですが、目標値を上回ったから単純に①にしたんだと思います。皆さまの意見を聞きますと、目標値を上回ったかどうかよりも、効果があったと思うけど、「非常に」ではないよね、といったところだと思います。ですので、③の効果はあったけども・・・といったところなのかなと。先ほど部長が言っていたのですが、弟子屈町との関係のところについて、そこを含めた事業全体を見ると、もっと大きな事業費となっています。バス会社がインバウンドの可能性も考えて、色々なところに張り巡らせているんですね。そのため、ここが無くなると、寸止めされてしまうという事情があるものですから、広域的な連携の中で様子見のような状態で続けているものです。少しずつ認知度は上がってきておりますので、周知をすればもっともっと伸びてくる場所なのかなと思います。費用対効果は数字で見ますので確かに効果的かどうか、他の方法も考えた方がいいのではないかとこの部分があります。</p>
吉江委員	<p>空港から峠に行って、そこから川湯に行くとなると、川湯に行くための</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
吉江委員	客を美幌町が金を出しているように見えてしまうんだよね。
小室政策主幹	この事業は、実は80万円程度で済む事業ではないんですよ。弟子屈町などを含めると4百数十万円かかっています。弟子屈町と阿寒バスが相当負担してくれています。美幌町ももっと出して欲しいと言われているのですが、当方としてはこれ以上出せませんと断っている状況です。美幌は経済効果あると言いながらも、街中に経済を落とすだけではないもので、さらに峠だけに限定されてしまっているの、来てもらって交流人口の増加や観光PRにはなっていますが、そこまでの経済活性化につながっていない。そのため、半額出してくれと言われても断った経緯がありまして、しかしこの路線を途絶えさせるのは困るということと広域連携の関係性を考えると、続けていかなければならない事業となっています。
横山会長	その他、基本戦略1, 2で何かありませんでしょうか。では私から。FSC認証の関係で、はじめての木づかい事業でプレゼントする木製品については、現在作っているのは1社だけとなっています。⑩の方針では、新商品開発を視野にとありますが、現実的に1社だけでは対応できないと思いますので、それを作れる木工業者を増やすような工夫も考えていただければありがたいと思っています。
広島総務部長	認証材を扱うには、COC認証を取得しないと扱えないことになっていますので、その認証を取っている木工業者が1社となっています。木工業者は他にもおまして、その方たちにCOC認証を取っていただけるのか、新しくそうした人を興すのか。ただ、そうしてしまうと生業としてどうなるのかという懸念があります。今はCOC取得業者が1社しかないので、そこにおもちゃなどの作成をお願いしていますので、生業として成り立っているのかなど。これを分散していくことになる、継続できるのか、生業として成り立つのか、そうした懸念がある。その1社も高齢なので、その後をどうするかといったことも含めた考えていく必要があります。
横山会長	町においても、例えばデュアスロン大会などの様々な大会で木の製品のものにして、それを全てFSC認証材にすれば素晴らしいなという思いがありますので、そういう意味も込めて、意見を述べさせていただきました。他にはいかがでしょうか。次についてよろしいでしょうか。では、基本戦略3の関係について意見・質問のある方はご発言をどうぞ。
村田委員	4番目の「妊婦一般健康診査費用助成事業」について、実績が100%になっていますが、対象者のうち何%が申請したのかなど。
小室政策主幹	これは対象者の全員が申請しています。
村田委員	それなら評価は①の「非常に効果があった」にすべきではないのかなと思います。
小室政策主幹	評価の部分については、先ほどからご意見を言われている部分でありますので、数字的には達成しているけど、それ以外の部分で何かあって総体的に考えてこの評価にしたのか、これも原課に聞いてみることにします。数字だけで見て評価したものとそれ以外の何かを総体的に考えて評価したと思われる評価が混ざっていますので、分かりづらくなっていると思います。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
小室政策主幹	ます。そこを聞いて、次回にお示しできたらと思っています。
吉江委員	というより、ここの指標については、申請者に対して100%補助しますよという設定がおかしいと思います。これは申請したら100%補助になるわけですよね。これは鉄板なのだから、指標の立て方がおかしいと思います。
小室政策主幹	この100%のKPIについては、前回の検証においても、商店街活性化の指標が満足度としていたものがありまして、それはご指摘をいただいてKPIとしては相応しくないとされていました。他にもいくつかありますので、見直しを図りたいと考えていますので、ご了承いただきたいと思っています。
森久保計画担当主査	7番目の「エンゼルサポート120事業」についても同様に%でのKPIなので、ここも見直しを図りたいと思います。
横山会長	今の見直しの部分についてはまた後日にするということで、他にありませんでしょうか。
城委員	「子育て世帯禁煙サポート事業」について、指標値100人で、実績値3人で、評価は「効果があった」となっていますが、何を基準にしているのでしょうかね。どう見ても効果がなかったと思いますが。
小室政策主幹	これについても、先ほど評価の選択肢の部分に関わってくるのですが、プルダウン方式となっていて、「目標値を上回ることにはなかったものの、事業開始前より改善した」ものとしてそういった評価をしたものと思います。原課において評価するところが様々となってしまったところは、当方の説明不足です。
城委員	もう一つ、指標の設定の仕方がおかしいと思うものが、「乳幼児等医療費助成制度」について、指標値は1000人とありますが、本来ならこれより下回った方がいいのではないのですか。下回った方が子どもは健康に育っているということですよね。これだと1000人を超えないと目標達成にならないといったような内容になる。
小室政策主幹	このKPIは受診者数ではなく受給者数ですので、カードの発行数のことだと思います。配布する対象者を1000人に設定したけれども、出生者数の減少により増えなくて減ってしまったということだと思います。
横山会長	指標が「医療費」の「受給」となっていますので、医療を受け取る、診察を受けた子どもの数に読み取れるのですが。
小室政策主幹	⑥に「少子化の進展にともなう受給者数の減少」とありまして、人口減少対策であることを考えますと、そのカード配布の対象となる子ども数だと思います。どちらにせよ、受給者数という指標がいいのかどうかというのがありますので、そこは原課とお話しさせていただきます。
広島総務部長	基本戦略3というのは、子育て支援の関係でありますので、安心してどう子育てができるのか、どうやってその体制を整えるのかということをお

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
広島総務部長	えると、乳幼児医療証をお渡ししているというのは、病気になってくださいとして渡しているのではなく、病気になったときに経済的に負担にならないために渡しているのです、これが目標より多くなれば、安心して子育てできる世帯が多くなったということであれば、指標として間違っていないと思います。
城委員	どちらともとれる記載になっているので、ここは直した方がいいと思います。
広島総務部長	この事業が何のためにあるのかといえば、安心して子育てができることにあるので、それに基づいた指標が設定をされて評価をされるべきだと思いますので、これはその統一感がないということ。
横山会長	では、そうした部分は修正をしていただくということでお願いします。
吉江委員	10番の一時預かり事業について、26年度の実績が250人で、27年度の指標が200人に設定されている。何故昨年より減少した目標値としたのかなど。実績値は300人近くなっているのに。あと、自分知らないもので、どこで預かっているのか教えてもらいたい。
水島副会長	子育て支援センターですね。コミセンのところですか。アークスの横。コミセンの中にあります。
広島総務部長	この事業の需要は増えているはずですが。コミセンだけでは足りない、処理できないということもあるので、200の設定がいかげんなものかと思えます。需要は多いので、これからも伸びていくところだと思います。保護者は預けることによって、例えば乳幼児を病院に連れて行けるとか、そういった形の一時保育なので、それでいけば安心して子育てができる環境ということで、前年度を超えるKPIを持たなければならないと思う。
横山会長	これは、大谷幼稚園やひまわり、藤などは入っていないのですか。
広島総務部長	入っていないです。本当の一時保育です。
小室政策主幹	そちらは0歳児保育などです。
村田委員	エンゼルサポートの中で、26年度から事業費が半分になっても100%ということは、対象者自体が半分になったからということか、というのが一つ。それから、放課後児童健全育成事業の⑩にある「小一の壁」というのはなんのことなのか。それと、禁煙サポート事業について、どのような取組をして、3人で終わってしまったのか教えてください。
小室政策主幹	この部分は事前にいただいていた。エンゼルサポート120については、対象者が半分になったということなのかについては、その通りだということです。生後1ヶ月くらいのお新生児のいるお宅に全戸訪問を行うので、100%になっているそうです。 続いて放課後児童健全育成事業の小一の壁とは何かについてですが、幼稚園、保育園から小学校に上がって、授業などの環境の変化により子どもたちにストレスが出て、上手くなじめない子がいるということで、就学前

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
小室政策主幹	と就学後のところを壁と呼んでいるそうです。小学校という組織になじめない、ずっと座って勉強するとか友達関係とかでなじめない子がいるということですか。
田村委員	放課後児童は今1年生から3年生ですよ。
広島総務部長	そうです。ただ条例上は6年生まで対象とされているのですが、余剰教室がありませんので、3年生までの対応としております。
田村委員	1校だけですか。
広島総務部長	いえ、各小学校にありますので、3校になります。旭、美小、東陽。
小室政策主幹	次の子育てサポート禁煙事業について、具体的な取組については、治療に係る診察料と薬代を含めて半額補助を行っています。また、事業の周知と実施している人の進捗具合相談やアンケートの行ったということがございます。今後の新しい取組については、まだ始まったばかりの事業なので、アンケートなどを参考にしながら継続していきたいということです。
村田委員	例えばポスターなどを作って、色々な事業所に貼ってもらうとかいった取組はしていないのですか。
小室政策主幹	役場内部では手作りのポスターはありましたが、外部にあるかは確認してみます。
村田委員	そうした周知をしていかないと、実績が3人しかいないので、今後伸びていかないのではないかと思います。
小室政策主幹	原課の方では、今後の利用者増につなげていきたいという思いがありますので、今ご意見あった部分については、伝えていきます。
城委員	先ほどいっていた「小一の壁」ですが、ここでいっている小一の壁は、先ほど言っていた内容と異なると思います。就学前であれば、保育として7時8時まで預かってもらえるけれども、小学生となるとその時間まで預かってくれるところがないんですよ。そうすると共働きの世帯では、そのサイクルが変わってしまうんですよ。就学前は延長保育で仕事が終わってから迎えに行けたのに、小学校に上がったら、4時くらいに仕事を上がらないと子どもを迎えに行けない。それがここで言っている小一の壁だと思います。
小室政策主幹	すいません、先ほどの小一の壁の一般的な言葉の説明でしたね。ここでの内容に合わない先ほど部長も言っていましたが、そういった部分での壁と言うことですね。
城委員	主幹が言った内容は子どもから見た壁で、ここでの内容は親から見た壁のことだと思います。親が仕事を辞めることなくサイクルを回していけるようにすることが大事と言うことの内容だと思います。
小室政策主幹	なるほど。失礼しました。確認します。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
横山会長	基本戦略3についてはよろしいですか。では基本戦略4に入ります。
村田委員	ICT教育において、指標値を達成したので、「非常に効果があった」という評価になるのではないのかなど。それから博物館との連携事業について、これも指標値を達成したので「非常に効果があった」という評価ではないかなど。それと事業費が入っていませんので、お金がかからないものなのかどうか。それから国際交流事業について、これも指標値を達成したので「非常に効果があった」とはではないかなど。最後の防災対策事業については、1自治体の設立で0.5%結成率が上がったただけなので、「相当程度効果があった」ではなくて「効果があった」とはではないかなど。
小室政策主幹	ICTの関係ですが、先程来からお話ししていますが、指標値に対する評価については、原課の考え方によっては、数値だけを見ているのか、数値だけでなく総体的に評価しているところも見受けられますので、それは選択肢の内容がよくないということもありまして、原課の考え方に酔っているということでございます。博物館との連携事業についても同様です。事業費については発生しておりません。次の国際交流事業についても、先ほど同様の考えです。防災対策事業についてですが、水害対応の年でしたので、備品や設備が整えられたということで「非常に効果があった」と総体的に見てそう判断させていただきましたが、ワンランク下の評価にすべきということであればそう対応するという事です。 この数値の部分と総体的での判断が分かれるところで、選択肢の内容の括弧書きにおいて、担当により評価が分かれてしまったところがありますので、この評価方法については精査させていただきたいと思っております。
村田委員	全般を通してなのですが、何件か効果がなかったというものに対し、我々も効果がなかったと判断したものについて、事業を継続していいのかという判断はどうしたらいいのかなど。
広島総務部長	地方創生という役割の中で必要かどうかという判断はしなければならないと思う。ただ、政策的に行う事業については継続しなければならないものがあると思います。その中で、地方創生の事業にそぐわないものがあるかもしれないので、それは精査をしなければならないと思います。「効果がなかった」という評価だから事業を止めるということは、もっと広い視点から考えていけないといけないんだろうなど。
村田委員	効果がない、有効でないという言葉が並んだときに、内容説明を受ければそれは大事なんだと言うことは分かりますが、実際効果がないものに対しては予算を半分にするとか、そういったことをしていかないと、なんで効果のないものに予算をつけるんだという声が出てくると思う。そうなるので、評価した我々が効果がないのに認めたということになりかねないので、効果がないものについてははっきりしたほうがいいのではないかなどと思っております。判断が我々の任務なので、どうしたらいいのかなど。
広島総務部長	単独事業なので、制度を作ったときに目的、到達点というものがある。ただ、手法なりが間違っていてそういった結果になってしまった、見通しが悪かったのだろうというものが見受けられますので、それは手法を変えてでもやっていって、それでも駄目なものは止めるということになると思う。そうした段階的な判断をしていかなければならないと思う。目的は正

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
広島総務部長	<p>しいのに、手法が間違っていたものについては、それを検証して改めなければならない。それでも改善が見込めないものについては、きちっとした予算組みをしなければならない。特に始めたばかりの事業については、1年経ってみないと分からないし、それについて行政は必要なんだけども住民は必要ではないものと見られてしまうということを考えていく必要があります。それは原課とも協議しながら判断しなければならないかなど。</p>
吉江委員	<p>端的に数字だけで比較するとそのような厳しいものになってしまうのですが、どこかに問題があるのではないかとこのところの検証が必要なんだと思います。それがあれば、効果がなくても、どこそこに問題があるけれども必要な事業だよねとなるかもしれないし、予算付けを考えることになってくると思います。なので、この評価だけで事業を判断するのは難しいですよ。</p>
広島総務部長	<p>ここでこうした議論を交わされたということについては、念頭に入れて制度設計なり仕組みを考えていかなければならない。</p>
小室政策主幹	<p>空き店舗活用事業は、新規で起業した人たちにとって25年度まではそれなりに実績が出ていたものだったのですが、27年度はゼロということで、それは起業家支援事業という新たな事業ができたからということもあります。起業家支援事業は、条件として美幌町への居住があるのですが、どうしても家庭の事情などで美幌へ引っ越して来ることができない人が現れたら、その場合はこの空き店舗活用事業が有効となりますので、そうした人たちに活用してもらうことで、美幌の街中のにぎわいを取り戻せることとなりますので、実績がなかったとしても制度としてあることによって、街中へのにぎわいにつながることへの期待される部分になるということがあると思います。そのため、やはりこの評価の仕方が相応しくなかったと思いますので、精査が必要だなどと思います。皆さまにこういうことがあるから必要なんだよと分かるような評価ができるようなものに改善していきたいと思います。</p>
村田委員	<p>この評価方法自体は国のものを流用しているんだよね。それならやはり、町独自の、町にふさわしいものを作った方がいいと思う。そうしないと、先ほどのように、実績はないけど、効果は低いけど町としては必要なんだというものがあると思うし、我々も有効か否かの2択は困る。</p>
横山会長	<p>数字で表せないものが色々あると思います。また、各部局によって、数字だけから機械的に評価したものと、様々な要素を考えて評価したところが分かれていますので、そのどちらも、裏にはこういう事情があって、だからこう期待されるもの、見込めるものがあるので、実績はゼロやら低いけども継続したいという思いがあると思います。それが分かるような、村田委員がおっしゃったような美幌町独自の評価があった方がいいと思います。</p> <p>個人的なことで申し訳ありませんが、所用の関係で5時に退席させていただきます。皆さまの貴重な意見の中申し訳ありませんが、後の進行は水島副会長にお願いします。みなさまよろしくお願いします。</p>
水島副会長	<p>基本戦略4について、他にご意見のある方いらっしゃいませんか。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
城委員	指標値 38,000 人とありますが、施策の目標値は 37,000 人だったように思いますので確認をお願いします。あと、⑥の評価理由のところ、「人口減少に伴う全体の利用者減少」とありますが、指標値に対して実績値は 31,652 人の 17%減となっていて、人口減少が 17%減にはなっていないので、もっと違う理由があるのではないかなど。
吉江委員	人口減少ではなくて利便性などの問題ではないか。
城委員	そう。17%減少したのは、人口減少に伴ったものではないと思う。
吉江委員	運行時間や路線だったりするのでは。そういったところが実態と合っていないのではないかな。いいバスだと思うのですが、確かにあまり乗っていないかもしれないです。ただ、最終バスは早かったように思います。
城委員	私が見る限り、同じ高校生メンバーが乗っているのを見ているので、吉江委員の言っているとおり、もっと根本的な原因があるのではないかなと思います。
吉江委員	26年度の乗車の内訳は分かりますか。
小室政策主幹	ここには掲載していませんので分かりません。
吉江委員	その内訳があれば、27年度と比較できるので、どこがどう減っているのか見ることができると思います。
小室政策主幹	26年度の内訳を原課に聞いておきます。理由についてはもう少し精査するようにします。
吉江委員	空き店舗活用事業について、実績ゼロだけれども、事業の継続となっていることについては、別に問題ないと思うし、こういった事業はあって欲しいと思う。空き店舗をなくして活性化して欲しいと思っている。どの程度の問合せがあって最終的にどうなったのかが大切だと思う。また、町内の空き店舗はどのくらいあって、登録制などになっているのか。どのような状態なのか、つまり活用できるのかどうか。そこが気になります。
小室政策主幹	この事業への問合せの件数は把握していないのですが、色々な支援はないですかと問合せがあったときに、27年度の新規にできた起業家支援事業を紹介させていただいた。この空き店舗活用事業は、家賃補助ですので、最高で商工会議所2万円、町から2万円の計4万円を、2分の1補助ですので、8万円以上の家賃だった場合に4万円を限度に補助されるものです。これを2年間。従いまして計48万円の補助となります。そのため、起業家支援事業の方が金額も大きいことや移住を促すものでもあったので、こちらを紹介させていただいた経緯がある。そのため、この事業に対する問合せ件数というのは厳しいかもしれませんが、いい事業ありませんかという問合せは確認したい。
広島総務部長	空き店舗の活用はゼロではない。活用は間違いなくされています。この事業に乗らないで、起業家支援事業にも空き店舗補助がありますので、

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
広島総務部長	そちらを活用している。ただ、この空き店舗活用事業と併用ができない。でも、空き店舗の活用実績はゼロではありません。
小室政策主幹	そうなんです。この事業を活用した空き店舗の活用実績がゼロなだけで、美幌町全体から見れば、6軒起業したうち古民家を活用したい1軒を除いて、全て空き店舗が活用されています。
吉江委員	補助をしたかどうかより、空き店舗が活用されているかどうかなので、先ほども言ったように、空き店舗はどれくらいあって、どの程度活用されているのか、また活用できる状態のものなのかが聞きたい。
小室政策主幹	26年度に商工会議所と連携を取って、空き店舗の調査を行いました。何件かはすぐに思い出せませんが、使えるものだけをリスト化しました。使えるような物件として、大家さんが判明していて、調べられる範疇のものは押さえて、商工観光グループにデータがあります。
吉江委員	その情報はホームページなどで閲覧できる状態になっていますか。こういった事業をせっかく行っているのに、誰もが探せるようにしておけば、もっと利用が伸びると思う。どこを探せばいいかわからない、誰に聞けばいいかわからない状態なので、もっと身近な情報にしておかないと、いけないと思う。こういった空き店舗の活用を促す事業はとてもいいと思う。町の活性化にとってもいいし、貸す大家さんにとってもいいことなので、もっとアピールして、誰でも見られるようにしたらどうだろうか。
小室政策主幹	分かりました。原課にもその旨を伝えておきます。公表については大家さんの意向もあるかもしれませんが、できれば誰でも見られるようにして欲しいことを伝えさせていただきます。
吉江委員	18の「学生ボランティア学習サポート事業」について、小中学生に農大生が教えるといった内容ですが、指標が5校となっていますが、5校で教えているということですか。夏休みや冬休みにやっているようですが、何人くらい受けているのですか。そもそも、この学校数というKPIはどのようなかなど。教えている児童数とかにすべきではないのかなど。実際に子どもは何人くらいいるのかなど。子どもに教えるものですから、子どもの人数が多かったら大変効果があるものだと思いますので、このKPIの学校数は違うんじゃないかと。大変いい事業だと思うので、そこを変えたらどうでしょうか。足寄町でも学力向上のために町が塾を運営していますよね。美幌は塾があるのでそうはならないですが。
広島総務部長	この事業の最終目的は子どもの学力向上なので、確かに学校数ではなくて、何人の児童生徒にこの事業は役に立ったのということですから、児童数の方がいいのでしょうか。
吉江委員	KPIの数字の立て方は難しいと思いますが、それでも立てなければならぬと思いますので。
小室政策主幹	これも原課と精査させていただきたいと思います。今言われた児童数、受講者数という形でできないか、協議したいと思います。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
吉江委員	<p>20の防災の関係なのですが、事業内容とKPIがリンクしないように感じます。事業内容では自主防災訓練と地域避難訓練を実施し、町民防災リーダーを養成するのが目的だと思います。この防災リーダーはどのようなことをやるのかとか、自主防災訓練と地域避難訓練の実施回数とか、⑥の評価理由に自治会連合会の自主的な取組とありますが、このKPIでいえば、いくつの自主防災組織があるのかとか。色々と分かりづらい。あとやはりこのKPIと事業内容が合っていないのではないかなと。自主防災は自治会に任せているのかなと。それはそれでいいのですが、そうなら事業内容と合わないんじゃないかなと。</p>
広島総務部長	<p>自主防災組織というのは自治会単位で組織してもらっています。それが町内の自治会のうち66.7%の防災組織がある。ほとんどが町の中の自治会で、農村部の自治会においては、密集していないこともあり、防災組織ができていない。このKPIの率は高いんだろうと思います。ある意味、防災リーダーを何人育てるかという方が正しいかもしれません。防災リーダーは18人くらいいます。それを各自治会ですとか地域で増やして行って、各地域で防災関係の中心となっていadakimashouということが、目的としては正しいのだともいます。各地域の中で核となる人物を育てていただく。町がやらなければならないところ、自治会が自主的に行うところがまちまちになっているので、統一性がないかもしれません。</p>
城委員	<p>いま、防災グッズを全戸に配布していますよね。これは触れていないのですか。部長のいったようにちぐはぐに感じる。</p>
吉江委員	<p>範囲が広いのかもしれませんがね。もう少し細分化した方がいいのではないのでしょうか。</p>
広島総務部長	<p>確かに、防災対策事業といいますと、ハードからソフトまで様々なありますので、相当な事業になる。</p>
吉江委員	<p>防災リーダーは消防とは違うんですよね。</p>
広島総務部長	<p>違いますね。研修を受けて、リーダーの資格を取るんです。そのリーダーになった人は、今月の30日に湧別で研修を受けることになっていますが、毎年研修を受けることになっています。消防が主体的に防災リーダーを養成してくれます。</p>
水島副会長	<p>他に意見はございませんでしょうか。では、以上美幌版総合戦略について議論が行われましたが、全体を通して意見・質問はございませんでしょうか。</p>
吉江委員	<p>今日は評価はしなくていいのですか。</p>
小室政策主幹	<p>会長が冒頭で言っていたように、相応しくないとされた事業以外のものは、効果があったと判断させていただきたいと思います。</p>
吉江委員	<p>了解しました。</p>
水島副会長	<p>事務局の方から何かありましたらお願いします。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
小室政策主幹	<p>はい、皆さま、前回の会議から引き続き、効果検証をしていただきましてありがとうございます。手際が悪いこともあり、検証が長引いてしまい申し訳なく思っています。課題はありますけども、今回で一応個別事業の検証が終わりまして、各担当部署にその結果を伝えていくのですが、結果の中には、K P Iの見直しを指摘されたものもありました。そこは担当部署と相談させていただきますが、事業の内容によっては見直しができるモノできないモノが出てくると思いますので、できないモノがある場合には、理由も付けてお示しできるようにはしたいと思いますが、申し訳ありませんがご了承いただきたいと思います。また、アクションプランに掲載してある施策ごとのK P Iについても、個別事業が終わったため見ていく必要がありますが、一つだけ、これまでの皆さまのご指摘を考えますと、見直しが必要だと思うK P Iがあります。アクションプランと書かれた資料をお配りしていますが、該当箇所を抜粋しています。基本戦略3には2つの施策がありますが、その2つともが満足度となっていて、これは前回の会議において、商店街の活性化で設定した指標も、満足度で設定して、こうした曖昧な指標はふさわしくないとご指摘を受けた部分と同じような指標になっていますので、見直しを掛けたいと考えております。場合によっては、施策をもう少し細分化することも考えていきたいと思っておりますので、次回の会議までに示せるようにしたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。以上です。</p>
水島副会長	<p>基本戦略3の施策のK P Iを見直しをしたいとのお話がありました。が、皆さまいかがでしょうか。では、事務局は次回までに示せるようにお願いします。続いて、地方創生拠点整備交付金について、事務局より説明をお願いします。</p>
森久保計画担当主査	<p>はい、地方創生拠点整備交付金について説明させていただきます。資料3-2と付けられている資料、これは国から配られた資料をそのままお配りしていますが、10月11日に平成28年度の補正予算が成立しまして、この地方創生拠点整備交付金が実施されることになりました。この事業内容としましては、地方版総合戦略に位置付けられた施設整備を支援しますとなっています。予算額は交付金ベースで900億円、事業費ベースで1800億円ということで、交付率は2分の1です。対象事業としましては、今言った施設整備、その施設の利活用方策を明確化したもの、そしてソフト事業と連携して地方創生の波及効果を高めることができるものに対して交付しますよとなっています。今回はお知らせということで簡単に紹介させていただきます。今までの地方創生交付金はソフト事業に対して交付されていたのですが、今回の拠点整備交付金は、一転してハード事業に限定して施設整備に対して交付されるものとなっています。地方創生に資する施設整備に限りますので、地方創生のソフト事業と一体となったものが一番望ましいとされています。そうした意味ではやはり難しいのかなと感じています。今この事業に乗れるかどうかの検証を始めているところなのですが、スケジュールとしては、一番下にありますように11月下旬にそうした計画を作って国に提出をして、1月中下旬を目処に交付決定を行う予定となっています。施設整備ですので、繰越は認められることになっています。事業実施の検証なり関係者との協議を進めていって、もしこの事業に乗っていくということになりましたら、次回の会議に皆さまにお示ししたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
水島副会長	地方創生拠点整備交付金の情報提供ということでお話しがありました が、何かご意見ご質問はありますでしょうか。
城委員	地方創生の交付金は最初は100%で、それが今年度は地域連携だとか 交付率2分の1だとかで町としてはハードルが上がったので手を挙げるも のがありませんということでしたよね。これが出てきたとしても、町のス タンスは変わっていないのですよね。地域連携だとか交付率2分の1とい うことでハードルは高いというのは変わらないのですよね。
森久保計画担当主査	ハードルは高いと思っています。これは施設整備ですので、降ってわい た話して施設整備ができるのかといったところも難しいです。
城委員	2分の1は変わらないですよね。更に地域連携があるとしたら、詳しい 内容は分かりませんが、できないということですよ。
森久保計画担当主査	拠点整備交付金はハードですので、必ずしも地域連携を求められている ものではありません。
城委員	となると余地はあるということですね。
広島総務部長	28年度の地方創生推進交付金は組み立て上、難しいだろうということ で手を挙げていなかった。ただ、今回の補正はハードが中心なので、総合 戦略での位置づけは必要ですが、地方創生にとって必要な施設は対象とな りますので、今から11月までにそれを組み立てられるのかといった問題は ありますけども、協議は進めていきます。
城委員	前回と違って余地はあると。
広島総務部長	そうですね。
端委員	今、パッと思いつくのは、観光地におけるWi-Fi設置ですね。そうい うことぐらいしか思いつかないな。そうしたら日本中そうできるのかな。 今までの地方創生の交付金は、Wi-Fiはハードだから駄目だとそれだけ はじかれた経緯がありますので。
森久保計画担当主査	おそらくそう簡単にはならなくて、そのためにソフト事業と一体となっ たもの、連動しなさいとなっています。当町も申請したとしても、優先度 が低くなるのがそこでして、国としては28年度に地方創生推進交付金を やったところを1番優先しますと。次にその地方創生推進交付金に、例え ば29年度に手を挙げますといったものについても、まあ上位に挙げまし ようと。
端委員	となると、それだけ挙げるのは難しいということですね。
森久保計画担当主査	そうですね。あと事前調査がありまして、その時にはソフト事業は一般 財源でやりますといったような項目がありましたので、一応見てはくれる のかなと。順番付けをするんだとは思いますが。
広島総務部長	ソフトとハードを結びつけて、将来的にこうなりますよといった戦略を

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
広島総務部長	描くのが非常に難しい。そこで施設を作ってソフトを先導できるような役割ができる道筋が描けるか。それを文章化していくのはハードルが高いと思っています。ただ、検討はしていかななくてはならない。どこの自治体も取り組むのは大変かなと思っています。
城委員	地方創生と言いながらこの手の予算は都市部しか行かないんじゃないか。
吉江委員	実際難しいですよ。時間的にも内容的にも。
広島総務部長	例えば、29年度に施設整備を予定していて、それが総合戦略と結びつくものとしていたものを前倒しするなら可能だと思います。それは時間的制約などもある程度クリアできる。
城委員	そうなるやはり都市部が有利ですよ。都市部であれば色々なハードメニューを持っているわけだから、それを載せていだけでいいのだから。一つのハードを作るのも予算的な面も含めて難しい地方には、使えないものだよ。
広島総務部長	施設整備は、用地の問題やその後の維持管理に関わってくるので、手を挙げて作りますと安易にはできない。また時間的にもそこを考慮していくと不足気味だなと感じています。
小室政策主幹	ちなみに情報提供ですが、美幌峠にWi-Fiが整備されました。10月11日から、国交省が設置してくれて運用開始になっています。
水島副会長	他になければ、最後の議題、「今後について」を事務局から説明をお願いします。
小室政策主幹	<p>今後についてと言うことで、事務局から説明させていただきます。今年度の会議はあと2回を予定してまして、次回の会議は11月中下旬に開催したいと考えています。その時に、先ほどお話しした施策のKPIの部分をお話ししたいのと、平成29年度に向けた事業について協議していきたいと思っています。そこで、皆さまに提案というかアイデアをいただきたいと思いついて、配付資料に「次年度に向けた美幌版総合戦略事業に係る提案シート」というものを付けさせていただきました。これまで事業検証したもののなかで、こうしたらいいというようなちょっとした改良とか、このような事業はどうかというようなものがあれば、11月2日までにいただきたいと思っています。提案いただいたものをそのまま実施するのは難しいと思いますが、考え方や企画内容のヒントとなりますので、是非ご提案いただきたいと思っています。提出については、電話などの口頭でも構いません。よろしくをお願いします。</p> <p>そして、11月中下旬に第5回目の会議を開くとなりますと、残りが1回となり、回数的に厳しいなと思っています。これについては、第2回目の会議が準備不足だったため、あまり成果のない会議に費やしてしまったことが原因ですので、皆さまには大変申し訳なく思っています。予算の関係上、会議を増やすことはできませんので、第5回目の会議以降の対応については、第6回目の会議日程の予定を含めて、次回までに考えていきたいと思っています。どうぞよろしくをお願いします。以上です。</p>

発言者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
水島副会長	<p>はい、ありがとうございました。全体を通して意見がありましたらよろしく申し上げます。ないようですので、これで本日の議題は全て終了しました。皆さまお疲れ様でした。</p> <p style="text-align: right;">了</p>